

令和4度 自己点検自己評価に関する学校関係者評価委員の意見

(1) 教育理念・目標・育人人材像など

項目	設問	職員の意見のまとめ	学校関係者評価委員の意見
教育理念	教育理念・教育目標が定められ、教職員、学生、学校関係者に浸透している。	教育理念 明るく楽しい学校“面倒見がいい学校”が浸透している。 挨拶運動も定着し、良い結果となっている。 学生が一堂に集まり、教育理念や目標を理事長又は校長から発表し、理解をしてもらえるような機会がない。 教育理念が、先生によってバラツキがある。 未だに学生を呼び捨てにしている。	教育理念について ①今ひとつ生徒に浸透していない。 ②一度職員の間でしっかりと話し合いが必要なのではないでしょうか。 ③卒業生も増え、報道等にも知らせています。 理事会ではっきりした理念、特色を打ち出したらいのではないでしょうか。 （例）素材で彩る個性（創造） 自分に贈りたくなる彩り 紡ぐ奇跡 迷って味わうときめき
学校の特徴	職業教育の特色について、教職員、学生、学校関係者に浸透している。	何ごとも年度初めが大切だと思う。先生間の考え方指導の仕方がバラバラで、学生も慣れてきてしまって、指導に従わない。 学生に挨拶運動はしているが、普段は学生が横を通っても挨拶していないのを見かける。 挨拶をしても、イヤホンをつけたまま頭を少し下げるだけの姿が目立つ。 髪色を注意しても守らないし直さない学生が多い。	学校の特徴 ①挨拶は以前より少しずつ良くなっているが、まだまだ完全ではない。 ②挨拶は学生からの発声があり、先生方の日々の努力からきているものと関心しました。
育人人材像	育人人材像が業界のニーズに向けて方向づけられている。	育人人材像 方向付けが足りていない。 校外実習での態度について企業から注意を受けることが多くなった。 業界のニーズや校外実習の重要性を、実施前に学生にもっと注意すべきだ。	育人人材像 ①校外実習のチャンスで何も学びを得ることがないのはもったいない。 挨拶、声出しの重要性を伝え、何を学べば良いか先生方の事前アドバイスがあると良いかもしれません。

(2) 学校運営

項目	設問	職員の意見のまとめ	学校関係者評価委員の意見
年間事業計画	運営方針に沿った事業計画が策定されている。	年間事業計画 年間事業計画はコロナ感染もあり、計画した事業はすべて実施されないこともあり、とても残念だ。 コロナで行事が変わることもあるのはわかるが、四者面談、インターンシップ等、各科統一せず変更をしているので、学校としてこれでいいのか疑問に感じる。 運営組織および意思決定機能 運営組織の中で個々の役割が理解されていない。 職員会議で意見を求められても、ほとんど発言がない。その意味を管理者は理解してほしい。 どうせ発言しても、実態が理解されない、改善してくれないからではないか。 「皆さんの意見を」とよく言われるが、結局、理事長が決めることが多い。 また、意思決定をすべて学科に任せるというのもどうかと思う。 今年度調理師科の監査があったが、担当者には大変な負担だったのに、関係ないという感じの先生もいた。意思の疎通がない、組織がバラバラ、個々の仕事の量の偏りを感じた。 朝礼中、職員会議中は座って発言している人の話を聞いた方がいいと思う。	総合的な意見 職員の意見のまとめで良好です。 年間事業計画 ①最低限行うものを学校側で定め、それ以外においては各科の判断のもと行えばよいかと思います。 ②コロナの影響で行えなかったものも、良い行事は実行していくべきである。 運営組織および意思決定機能 ①学校側と職員のコミュニケーションを多く取る。 ②職員会議等で発言しにくい方もいるかと思うので、後日書面にて無記名での提出で少しは改善できるのではと思います。
運営組織	運営組織や意思決定機能が明確化され、意思決定システムが整備されている。	就業規則について 就業規則やカードなど、今年やっと労働基準法にあったことをしたのに、一般企業より制度を守っていなかったことにはさほどふれず、したんだから今度は職員が守れというような言い方は違うのではないか。 仕事量と給与が適量ではない。仕事量をもう少し平等にすべき。	就業規則について ①仕事の割り振りを各科職員で調整、その上で全体職員で、どのようにするか会議し全体調整できませんか。 ②就業規則も大事であるが、先生方がいかに生徒を成長させるかを考えるべきであると思う。
就業規則	人事・給与などに関する規程は整備されている。	人事・給与について 7月からＩＣカードが設置されている。 個々の時間外の時給は適正である。	

(3) 教育活動

項目	設問	職員の意見のまとめ	学校関係者評価委員の意見
カリキュラムの編成	授業計画（シラバス）を作成し、学科の各科目はカリキュラムの中で適正に位置付けられている。	カリキュラムの編成 毎年、担当教科（座学）が変わり、シラバス作成と授業の適正化に時間がかかる。 シラバスも定着しつつあり、適正に位置づけられて進んでいる。 シラバス通りに行えていない教科もある。 シラバスの提出が遅い。また、科単位で科目相互の内容の確認をしているのか。 科目それぞれの相乗効果のある内容になっているのか。 コロナ対応に苦労しているし負担になっている。	総合的な意見 ①職員の意見のまとめで良好です。 ②職員の立場、仕事を理解されていないように思える。 カリキュラムの編成 ①シラバス作成とすべき授業を同じになるようにしたい。 ②ルセットに関しては、職員の負担増にならなければプリントアウトしたものを学生に配布し、重要な事をホワイトボードに書けば良いのではないのでしょうか。 授業評価体制 ①学生がどのような授業を求めているかアンケートをしていただきたい。 職員研修 ①各科講習会へ参加することにより、助手の知識向上につながると思います。 ②教員研修として、学校に講師を呼んで勉強してはいかがか。
授業評価体制	授業評価の実施、評価体制がある。		
教員の確保	人材育成目標達成に向け、授業を行うことができる要件を備えた教員を確保している。		
職員研修	教員の資質向上のため、研究活動・自己啓発への支援など教員のキャリア開発を支援している		

キャリア教育	実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法が実施されている。	キャリア教育 オンライン説明や企業訪問で話が聞けたことは、学生も喜んでいた。	総合的な意見 良い意見だと思う。
企業との連携	関連分野への学外実習（インターンシップ）、企業と連携した実技実習が体系的に位置付けられている。	企業との連携 インターンシップの体制は整っていると思う。 新型コロナの影響で難しい部分がある。 なかなか難しい時代（コロナ禍）だが、担当が訪問や電話など頑張ってくれた。 ただ、インターンシップは、ぜひ1か所で5日間行ってほしい。3日間だと何もわからず、何も学ばず終わってしまう。 インターンシップは基本2年生は60時間、1年生は50時間である。 コロナで柔軟な対応は必要だが、最初から30時間と決めて実施するのは、違うと思う。 学生に、インターンシップの意義が理解されているか不安だ。 インターンシップ前に、その重要性を学生にもっと話すべきである。 最近の実施後の評価が悪くなっている。 ひとつの企業に集中して実施したり、就職に結び付けようとしても支障がでてきている。	企業との連携 ①インターンシップは就職にもかかわるので時間にとらわれず、本人が納得するまでできないものか。 ②企業との連携の主な部分はインターンシップだと思います。 インターンシップにおいて、なぜその店なのか、そこで何を学びたいか、その部分を学生自身にしっかり考える時間を与えてほしいです。 インターンシップ先の商品を必ず食べる。何が好きか、そこはしっかり学生の中で持っていてほしいことです。 就職に関しては、結果として結びつくものであり、そこを目標にする場合、学生には相応の努力が必要だと思います。

(4) 教育成果

項目	設問	職員の意見のまとめ	学校関係者評価委員の意見
資格取得率の向上	取得目標としている資格・免許の内容・取得の意義について明確にし、資格取得のための支援がなされ、合格率の向上が図られている。	資格取得率の向上 担当の先生方は頑張っていると思う。 ただ過去問を平成から印刷するのはどうかと思う。 学生から印刷代を徴収しているにしても多すぎる。ましてや卒業生や通信の卒業生には無料だ。 受験対策等の実施有効。 製菓総合学で授業としても取り組んでいるが、全員合格まで至っていない。 例年と比べ、朝勉や放課後の勉強会を行っていないように思える。 例年、石川、福井とも試験会場まで担当の先生が引率していったが、今年は、石川は直前になって、もう学生が試験会場に入ってから向かっていた。福井はいかなかった。 何かあった場合はどうするのか。 基礎能力を、もっと上げるようにした方が良い。 同じ内容が続くと、学生はだれる。内容を見直す方がよいのではないか。	総合的な意見 職員の意見のまとめで良好です。 資格取得率の向上 ①結構頑張っていると思う。 ②全員合格するとなると、先生方の負担がすごいように思えます。 日々のテストの中にも過去問を取り入れる等すれば、少し真剣に取り組んでくれるのではないのでしょうか。
就職率の向上	専門分野と関連する業界等の求人情報や学生の就職活動を把握し、就職率の向上が図られている。	就職率の向上 学生の就職意識に差はあるが、自ら行動して頑張っている学生もいる。 進路指導が徹底していると思う。成果は出ていると思う。 昨今の学生は積極性が不足しているので心配だ。 その年によるが、今年は県外志望が少なく、職種もパティシエと偏りが見られた。 もっと新しい企業の開拓が必要だし、学生も紙の求人票を見るだけでなく行動してほしい。 Wライセンスは確かに将来的に有利であることは間違いない。 しかし、ブライダル業界の業態に変化があり、ウェディングケーキを作っていない企業も多く、キッチンスタッフとしてのみ募集している企業もある。 就職率の向上だけを考えるのではなく、ミスマッチがないようにしたい。 特にWライセンスの学生は、調理師科に進学してから迷いが生じている。 1年制の学科は、現実問題として2年制と競合すると不利になる。	就職率の向上 ①求人票だけではなく、InstagramのDM等を利用するのもひとつの手だと思います。 大々的な募集をかけていないお店もあるので。 技術力の向上 ①ナッペ、絞りはすごく大切になってくるので、しっかり練習して損はないと思います。
技術力の向上	基礎技術力を確実に身に付け、さらにコンクール出品を目指す学生への指導がなされている。	技術力の向上 十分が指導は行われていると思う。 コンクールも大事だが、一人ひとりの基礎能力の向上を上げる方をみてはどうか。 コンクールは、マジパンサークルや利用日も決めて行っている。 基礎実習では、ナッペ、絞り、パイピングの時間が増えている。	②十分指導は行われていると思うが、生徒のやる気を向上させることが大切なのではないか。

(5) 学生支援

項目	設問	職員の意見のまとめ	学校関係者評価委員の意見
進路支援体制	進路指導に関する体制が整備され、有効に機能している。	進路支援体制 整備されていると思う。 オンラインが多くて大変だと思う。 就職に関して、進路指導がほとんどの面倒をみているが、相談は、進路、学科長、各担任ではないか。	総合的な意見 ①職員の意見のまとめで良好です。ご苦労様です。 ②クラスLINEはすごく便利だと思いますが、進路に関してはなかなか難しいと思います。 個別指導 ①LINEになると先生方のプライベートの時間にも関わってくるので、授業の一部の時間を使うなどはできませんか。
個別指導・懇談	必要に応じて、学生の個別指導や相談ができる体制は整備されている。	個別指導 個別指導室を使ってもらっている時もあるようになった。 学生一人ひとりの対応は大変だが、するべきだと思う。 クラスLINEは大変便利であるが、便利であるからこそ使い方を考えるべき。 個別に対面で指導すべきこともLINEでしていることがあり、学生のプライバシーや心情を考えると慎重に対応すべきだと思う。 相談にきてくれない学生の対応は難しい。	
経済的支援体制	学生に対する経済的な支援体制は整備されている。	経済支援体制 整備されている。 奨学金を利用する学生が多い。 修学支援新制度について、職員全員にすべてを理解してもらうことは難しいが、これから希望者がもっと増えると思うので、サポート体制の強化を願う。	

健康管理	健康診断、心のケアなど学生の心身の健康管理を担う組織体制がある。	健康管理 職員への心のケアもどうかしてほしい。 年度初めに職員の健康が大切と言っていたのに、実態を見ていない。 通信制から入学する学生が増えたが、対応が難しい面もある。 相談を受けている先生は、休み関係なく相談にのっていて負担が大きい。	家庭との連携 ①相談できる時間を制限するなど、職員への負担減が必須になってくると思います。 四者面談はすごく大切なので、リモートも含め対応してはいかがですか。
家庭との連携	生活指導、進路指導などで、保護者と適切な連携がとられている。	家庭との連携 家庭との連携が取れているとは思えない。もう少しこまめに連絡して指導してはどうか。 休みが多い学生には、保護者との強い連携が必要だと思う。 今年は夏季休暇中に四者面談を行っているクラスがなかった。 前期中に行うという指示があったと思うが、就職クラス（S2、E、T）が9月中にできるかわからない。	
卒業生への支援	卒業後のキャリアアップ、再就職、進路変更などのための支援ができています。		

（6）教育環境			
項目	設問	職員の意見のまとめ	学校関係者評価委員の意見
学習環境の整備	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されている。	学習環境の整備 「直せるところは直す」というが、小規模で一時しのぎのように感じる。 ハード面がどんどん悪くなっている、それをカバーするソフト面も今はどうか。 経年劣化した部分は、経済的に全て対応しきれない。 各教室にプロジェクタスクリーンが必要（現在、ホワイトボードに映しており反射する） 最低限の設備はあるが、最新のプラスαがほしい。	学習環境の整備・危機管理 ①生徒、教職員のための環境整備、安全性の徹底を一番に考えてほしい。 （例） ・防犯設備の完備 ・実習室の使い勝手（証明の明るさ、空調設備、音響設備等） ・床、壁面、天井面の管理（仕上げ内部のアスベストの封じ込め状況） ②・防災対策は設備業者に任せるだけではダメです。 学校関係者全員が意識を高めておくべきです。 （例） ・防火扉、排煙設備、警報設備、廊下階段の幅員、換気設備、非常用照明など ③費用が要することは優先順位をつけて一つひとつ、つぶしていく。 ④担当職員から導入したい設備のリストを提出してもらい、それに対して職員会議などで話し合いの場を設けてはいかがでしょうか。
危機管理	防災、安全管理に対する体制が整備されている。	危機管理 管理する「佐藤設備」のもと点検・整備がなされている。 今年はAEDの使用法の講習会が設けられ意義あるものであった。 これからも、これに準じ火災や災害防止対策の講習会があっても良いのでは。 防犯カメラの設置を急いでいる。	

(7) 学生の受入募集

項目	設問	職員の意見のまとめ	学校関係者評価委員の意見
募集活動	学生募集活動は適正に行われている。	募集活動 学校見学説明会、オープンキャンパスに参加した高校生には、これまで以上に説明等頑張っている。 オープンキャンパス夏休み掃除担当表を作っても、実践したのは一部の先生だけだった。掃除だけでも手伝ってほしい。 小中高では今後テキストもデジタル化するという。本校でも以前タブレットを使った募集活動をしていたがやめたのか。SNSは効果を上げているが、対面の募集活動も工夫が必要。	総合的の意見 職員の意見のまとめで良好です。 募集活動 ①可能であれば、オープンキャンパス以外に高校へ出向いて実習させてもらうなど触れ合うきっかけを作ってあげれば興味関心は引けると思います。 ②募集活動は十分に行われていると思う。 入学選考 ①人材の見極めも学校の評価のため、しっかりと行う方が良いかと思います。 学納金 ①材料費は製菓・調理 一律で良いのでは？
入学選考	入学選考は、適性かつ公平な基準で行われている。	入学選考 入学選考の基準がわからない。 本当に食の分野に就職しても大丈夫なのか？と思うような学生もいる。結果的には本人のためになっていないのではないか。	
学納金	学納金は妥当なものとなっている。	結果、誰でも入学させてしまうため、入試の意味がわからない。 Wライセンスを希望する学生が多いが、今年の製菓衛生師科の学生が来年調理師科に進学すると思うと不安しかない。 学納金	

(8) 財務

項目	設問	職員の意見のまとめ	学校関係者評価委員の意見
財務基盤	中長期的に学校の財務基盤は安定している。	財政基盤 安定しているかわからない。 今年度の入学数を保っていけば安定していけるが、18歳人口の減少が大きい。 少子化が進むと不安な面がある。 予算収支計画 コロナの影響による出費が多い。 予算収支計画書などについては、HPで公開している。 会計士が月1回、適正にチェックをしている。	財政基盤 ①少子化に伴い、18歳以下が少なくなっているので、大学短大への募集等は可能ですか。 可能であれば、検討の余地もあるかと思います。
予算収支計画	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっている。		
会計監査	財務について会計監査が適正に行われている。		
財務情報公開	財務情報公開の体制整備はできている。		

(9) 法令等の遵守

項目	設問	職員の意見のまとめ	学校関係者評価委員の意見
コンプライアンス	各教育活動は、決められた法律に則ってなされている。	個人情報保護 学生が職員の机のところまで来る場合がある。 自己点検自己評価 毎年改善を行っている。 改善されている部分もあるが、もっと期待をする。 毎年、同じことの繰り返しだ。どこかを直すなど小さな補正はしてもらえても、仕事の分担など本当に改善してほしい点をみてほしい。 学校関係者評価公開 確認がとれていない。 HPで公開している。職業実践専門課程では公開する義務がある。	個人情報保護 ①職員室への立ち入り禁止等の措置を学校側からとっていく必要があると思います。 設置基準 ①職員の意見のまとめで良好です。教育環境に法令が含まれています。
設置基準	法令、設置基準等の遵守と適正な運営がなされている。		
個人情報保護	個人情報に関し、その保護のための対策がとられている。		
自己点検自己評価	自己点検、自己評価の実施と問題点の改善を行っている。		
学校関係者評価公開	学校関係者評価委員による評価をHPで公開している。		

(10) 社会貢献・地域貢献

項目	設問	職員の意見のまとめ	学校関係者評価委員の意見
教育資源・施設の活用	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っている。	教育資源・施設の活用 コロナ禍が落ち着くまで実施できないと思う。 計画はあるがコロナのせいもあり、中止になっている。 学生ボランティア 学生がボランティアを行う時間がないと思う。 コロナのため、集団での活動は難しい。 ボランティア募集の掲示は行っている。	社会貢献・地域貢献 ①コロナ下で考えるつくことはないですか。 学生ボランティア ①コロナもあり、集団での行動は避けるべきだが、何人かのグループをいくつか作り、1ヶ月に1回でも、その中のどれかのグループが掃除へ行くだけでも対外評価はあると思います。
学生ボランティア	学生ボランティア活動を奨励、支援しているか。		

全体を俯瞰したご意見

コロナ禍の影響が大きく、お互いに顔を見合わせて真摯に語り合うという基本が崩れ、学生・職員等がバラバラになってきている。と感じる。
これは、本校だけの問題ではなく、広く社会全体がそのような方向に動いていると思う。
理事、理事長等、運営側と教授陣職員との齟齬は永遠なものだが、話し合えば通じるようになる。学生はそうはいかない。すみやかに手を打つべきだ。